

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
設定日	2017年3月6日
信託期間	2017年3月6日～2027年3月5日（10年）
運用方針	米ドル建て外国投資信託証券への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等に実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。また、市場動向に応じて債券、株式、リート等の資産配分を定期的に見直します。なお、親投資信託であるキヤッショ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。
主要運用対象	世界リアルアセット・バランス（資産成長型） <ul style="list-style-type: none"><li>• ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA 受益証券を主要投資対象とします。なお、キヤッショ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。</li><li>ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA</li><li>• 世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リートなどを主要投資対象とします。</li></ul> キヤッショ・マネジメント・マザーファンド <ul style="list-style-type: none"><li>• 本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。</li></ul>
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>• 投資信託証券、短期社債等およびコマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。</li><li>• 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</li><li>• 外貨建資産の投資割合には、制限を設けません。</li></ul>
分配方針	毎年3月、9月の5日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## 運用報告書（全体版）

第8期

決算日 2021年3月5日

## 世界リアルアセット・バランス (資産成長型)

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「世界リアルアセット・バランス（資産成長型）」は、去る2021年3月5日に第8期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基 準 価 額			公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
		税分配	込金	期騰落率			
第4期（2019年3月5日）	円 10,280	円 0	% 2.0	0.1	% 97.5	% 2,778	百万円
第5期（2019年9月5日）	10,460	0	1.8	0.1	97.6	2,629	
第6期（2020年3月5日）	10,588	0	1.2	0.1	97.4	1,836	
第7期（2020年9月7日）	9,855	0	△6.9	0.1	97.3	1,661	
第8期（2021年3月5日）	10,607	0	7.6	0.1	96.5	1,630	

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	公 社 債	投 資 信 託 証 券
			組 入 比 率	組 入 比 率
(期首) 2020年9月7日	円 9,855	% —	% 0.1	% 97.3
9月末	9,619	△2.4	0.1	97.4
10月末	9,460	△4.0	0.1	98.0
11月末	10,075	2.2	0.1	97.6
12月末	10,020	1.7	0.1	96.8
2021年1月末	10,183	3.3	0.1	96.9
2月末	10,572	7.3	0.1	97.1
(期末) 2021年3月5日	10,607	7.6	0.1	96.5

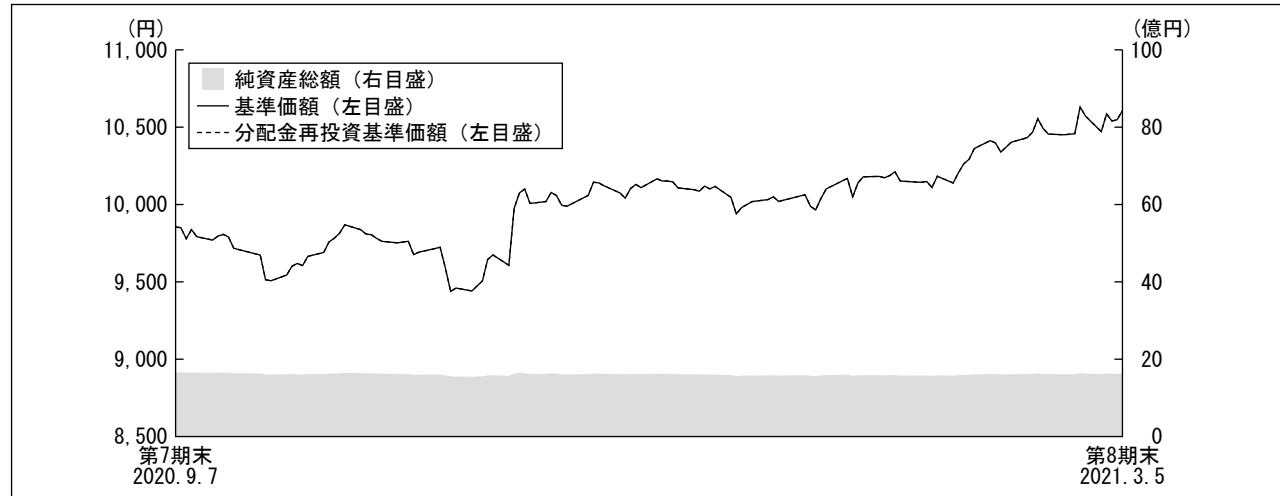
\*騰落率は期首比です。

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第8期首： 9,855円

第8期末： 10,607円（既払分配金 0円）

騰落率： +7.6%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスAへの投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等に実質的に分散投資を行いました。

#### （上昇要因）

不動産関連株式では、2020年中に総じて不調だった米国的小売およびホテルセクター、日本および香港銘柄の反騰がパフォーマンスをけん引しました。リアルアセット関連債券では、インフラ、天然資源、不動産等が上昇し、とりわけハイイールド債券が好調でした。インフラ関連株式では、空港や鉄道、有料道路などの輸送セクターのほか、エネルギーインフラや公益事業セクターが絶対パフォーマンスに貢献しました。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 【投資環境】

当期のリアルアセット関連債券市場は上昇しました。新型コロナウイルスのワクチン開発の進行や感染件数の減少、堅調な企業業績、景気刺激策の進展から経済成長見通しを巡る楽観が高まり、米10年国債利回りは上昇しました。インフラ関連株式市場も上昇しました。地域別では、アジア太平洋地域と欧州が上昇する一方、アメリカ大陸はわずかにマイナスでした。セクター別では、港湾を筆頭に、空港、分散型、有料道路などが上昇しましたが、通信と送配電はマイナスでした。アレリアンMLP指数で見たエネルギーインフラは大きく上昇しました。不動産関連株式市場も上昇しました。地域別でもすべての地域が上昇し、アジア太平洋地域を筆頭に、北米、欧州が続きました。米国のセクター別では、ホテルが最も大きく上昇し、小売、分散型、個人向け倉庫、オフィス等のほとんどのセクターがプラスでした。唯一、データセンターはマイナスでした。

国内短期金融市場では、期初-0.14%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは-0.1%~-0.2%内での動きに終始し-0.10%近辺で期末を迎えました。

### 【ポートフォリオ】

#### ■世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

主要投資対象であるブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスAを期を通じて高位に組み入れ、期末の投資信託証券組入比率は96.5%としました。

#### ■ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA

当ファンドでは、引き続き、株式への配分に関してはやや保守的な姿勢を維持しつつ、リアルアセット株式市場の穏やかな上昇から恩恵を受けられるポートフォリオ構成が望ましいと考えています。当期中に、不動産関連株式への配分を引き上げて戦略的資産配分に対してややオーバーウェイトとする一方、リアルアセット関連債券は引き下げてアンダーウェイトとしました。インフラ関連株式は、引き続きオーバーウェイトとしました。

#### ■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 【分配金】

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせて頂きました。  
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項目	第8期	
	2020年9月8日 ～2021年3月5日	
当期分配金 (円)	0	
(対基準価額比率) (%)	0.00	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,492	

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

引き続き、運用の基本方針に従い、米ドル建て外国投資信託証券への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等に実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ■ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA

リアルアセット関連債券においては、投資適格社債やハイイールド債券のスプレッドが長期平均対比で引き続き縮小しており、利回りも低下しています。当ファンドでは、景気刺激策とそれに伴うインフレ期待の高まりが金利上昇に繋がり、ボラティリティ（価格変動性）の高進をもたらし、債券にとって向かい風に働く可能性があると見てています。一方で、超緩和的な財政、金融政策や経済再開の動きなどは追い風です。当ファンドでは、デュレーション\*リスクやリスク調整後リターンの観点から、中期的にはBB格の債券に妙味があると考えています。

インフラ関連株式では、輸送やエネルギーインフラセクターのパフォーマンスに直結すると見られる、ワクチン普及のスピードと効果およびパンデミック（感染の大流行）を巡る各国政府の対応に注目しています。また、公益事業セクターにとってさらなる追い風となり得る、米国バイデン新政権のクリーンエネルギー政策なども注視しています。通信セクターは、足元ではややアンダーパフォームしているものの、5G（第5世代移動通信システム）の展開やデータ通信量の増大など、ファンダメンタルズ（基礎的条件）は良好です。エネルギーインフラも有望だと見てています。OPECプラス（石油輸出国機構加盟国に加盟国にロシアやメキシ

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

コなどの非加盟主要産油国を加えたグループ）の減産合意により、需給の改善が見込まれるほか、ワクチンが普及し経済が再開すれば、原油需要の正常化が進む可能性があります。また、世界的な低炭素経済志向の中、天然ガスや液化天然ガスセクターも引き続き魅力的です。

不動産関連株式では、景気感応度の高いセクターが足元でアウトパフォームしていますが、当ファンドでは、さらなる上昇余地を秘めており、取引量の拡大とともに純資産価値が上昇すると考えています。また、一部の銘柄では、短期的なアンダーパフォーマンスにより魅力度が増しており、個別の成長要因に注目して買い増しを検討しています。米国の不動産株式のバリュエーション（投資価値評価）は、足元では総じて過去平均並みで取引されていますが、これは一部の好調なセクターに押し上げられているためだと考えています。短期的には感染問題やソーシャル・ディスタンシング（感染拡大を防ぐために物理的な距離をとること）の恩恵をダイレクトに受けるセクターがある一方、リテールやホテル、オフィスセクターは、長期間のバリュエーション・レンジのはるか下、かつ純資産価値よりも大幅に割安に取引されていると見てています。

\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

### ■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

新型コロナウイルスの感染拡大への懸念増大に伴う金融情勢を踏まえて、日本銀行は2020年4月の金融政策決定会合において金融緩和の強化を行ったものの、政策金利の引き下げは見送りました。しかし、世界的主要中央銀行は相次いで緊急利下げや量的緩和政策の導入に踏み切ったことや、日本銀行も国債のさらなる積極的な買い入れを明示したことから、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。引き続き安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

### 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	2020年9月8日～2021年3月5日			
	金額	比率		
信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	56円 (19) (35) ( 1)	0.557% (0.190) (0.353) (0.014)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,988円です。 ファンドの運用等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価	
その他費用 (監査費用) (その他)	1 ( 1) ( 0)	0.006 (0.005) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等	
合計	56	0.563		

\*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

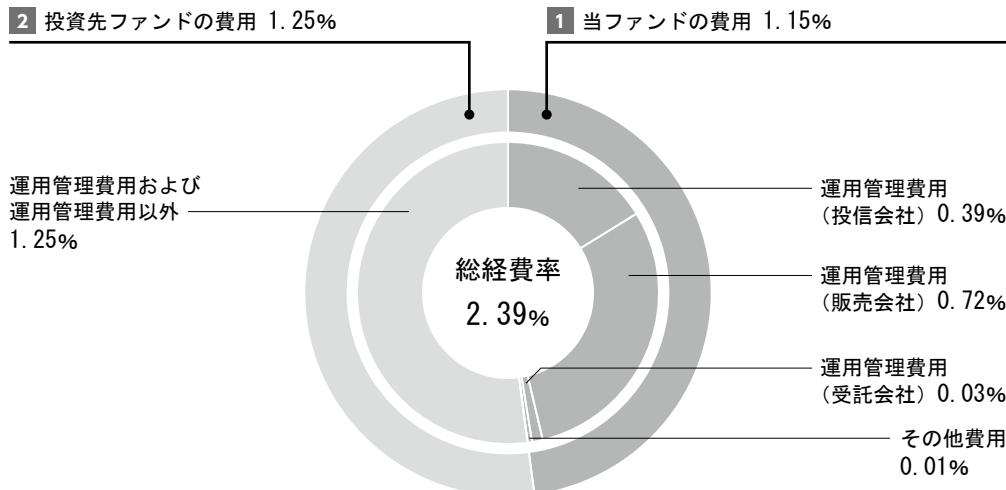
なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

\*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率 (1 + 2)

2.39%

1 当ファンドの費用の比率

1.15%

2 投資先ファンドの費用の比率

1.25%

\*①の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

\*②の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているクラスの費用が入手できないため、入手可能なファンド全体のデータをもとに平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

また、運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できないため、まとめて表示しています。

\*①と②の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

\*上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は2.39%です。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 売買及び取引の状況

(2020年9月8日から2021年3月5日まで)

#### ■投資信託受益証券

	口 数	買 付		売 付	
		金額	千アメリカ・ドル	口 数	金額
外国 Brookfield Global Real Asset Fund ClassA	4,420	417	千アメリカ・ドル 1,668	17,575	1,668

\*金額は受渡し代金

### 利害関係人との取引状況等

(2020年9月8日から2021年3月5日まで)

#### ■利害関係人との取引状況

<世界リアルアセット・バランス（資産成長型）>

当期における利害関係人との取引はありません。

<キャッシュ・マネジメント・マザーファンド>

区 分	当 期				
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D
公 社 債	百万円 3,675	百万円 603	% 16.4	百万円 —	百万円 —

\*平均保有割合0.1%

\*平均保有割合とは親投資信託残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 組入資産の明細

2021年3月5日現在

### ■ファンド・オブ・ファンズが組み入れた外貨建ファンドの明細

フ　ア　ン　ド　名	当　期			末
	口　数	評　価　額		比　率
		外　貨　建　金　額	邦　貨　換　算　金　額	
Brookfield Global Real Asset Fund ClassA	口 150,586	千アメリカ・ドル 14,582	千円 1,573,479	% 96.5
合　計	150,586	—	1,573,479	96.5

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合

### ■親投資信託残高

	期首(前期末)	当　期　末		
	口　数	口　数	評　価　額	
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	千口 2,567	千口 2,567	千円 2,608	

### <補足情報>

#### キャッシュ・マネジメント・マザーファンドにおける組入資産の明細

下記は、キャッシュ・マネジメント・マザーファンド全体（4,633,155千口）の内容です。

### ■公社債

#### A 債券種類別開示

#### 国内（邦貨建）公社債

区　分	2021年3月5日現在						
	額　面　金　額	評　価　額	組　入　比　率	うちB級以下組入比率	残　存　期　間　別　組　入　比　率		
					5年以上	2年以上	2年未満
地　方　債　証　券	千円 100,000 ( 100,000)	千円 100,256 ( 100,256)	% 2.1 ( 2.1)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 2.1 ( 2.1)
特　殊　債　券 (除く金融債券)	2,585,000 (2,585,000)	2,592,641 (2,592,641)	55.1 (55.1)	— (—)	— (—)	— (—)	55.1 (55.1)
普　通　社　債　券	300,000 ( 300,000)	300,535 ( 300,535)	6.4 ( 6.4)	— (—)	— (—)	— (—)	6.4 ( 6.4)
合　計	2,985,000 (2,985,000)	2,993,433 (2,993,433)	63.6 (63.6)	— (—)	— (—)	— (—)	63.6 (63.6)

\*（ ）内は、非上場債で内書き

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### B 個別銘柄開示

#### 国内（邦貨建）公社債

銘柄	2021年3月5日現在				
	利 率	額 面 金 額	評 價 額	償 還 年 月 日	
(地方債証券)	%	千円	千円		
23-1 横浜市公債	1.1890	100,000	100,256	2021/05/24	
小計	—	100,000	100,256	—	
(特殊債券（除く金融債券）)					
22 国際協力銀行	1.8900	100,000	100,085	2021/03/22	
9 政保道路機構	1.9000	1,000,000	1,001,144	2021/03/26	
135 政保道路機構	1.1000	130,000	130,334	2021/05/31	
137 政保道路機構	1.2000	95,000	95,348	2021/06/30	
14 政保政策投資B	2.1000	100,000	101,096	2021/09/13	
1 政保地方公共8年	0.5760	700,000	702,178	2021/09/24	
145 政保道路機構	1.0000	100,000	100,560	2021/09/30	
149 政保道路機構	1.0000	260,000	261,894	2021/11/30	
58 日本学生支援	0.0010	100,000	100,000	2022/02/18	
小計	—	2,585,000	2,592,641	—	
(普通社債券)					
34 東京瓦斯	1.0640	100,000	100,580	2021/09/22	
23 リコーリース	0.0500	100,000	99,963	2021/09/24	
43 三菱UFJリース	0.0600	100,000	99,992	2021/10/25	
小計	—	300,000	300,535	—	
合計	—	2,985,000	2,993,433	—	

### 投資信託財産の構成

2021年3月5日現在

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,573,479	% 95.7
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	2,608	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	68,408	4.1
投 資 信 託 財 产 総 額	1,644,495	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 アメリカ・ドル=107.90円

\*当期末における外貨建資産（1,592,247千円）の投資信託財産総額（1,644,495千円）に対する比率 96.8%

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年3月5日) 現在

項目	当期末
(A) 資産	1,649,471,310円
コード・ローン等	54,148,535
投資信託受益証券(評価額)	1,573,479,162
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド(評価額)	2,608,179
未収入金	19,235,434
(B) 負債	19,126,671
未払金	5,013,108
未払解約金	5,144,257
未払信託報酬	8,887,024
その他未払費用	82,282
(C) 純資産総額(A-B)	1,630,344,639
元本	1,537,016,193
次期繰越損益金	93,328,446
(D) 受益権総口数	1,537,016,193口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,607円

\*元本状況

期首元本額	1,686,315,237円
期中追加設定元本額	7,766,568円
期中一部解約元本額	157,065,612円

## 損益の状況

自2020年9月8日  
至2021年3月5日

項目	当期
(A) 配当等収益	39,161,405円
受取配当金	39,167,608
受取利息	331
支払利息	△ 6,534
(B) 有価証券売買損益	85,363,736
売買益	90,416,049
売買損	△ 5,052,313
(C) 信託報酬等	△ 8,975,277
(D) 当期損益金(A+B+C)	115,549,864
(E) 前期繰越損益金	△ 50,734,714
(F) 追加信託差損益金	28,513,296
(配当等相当額)	( 51,695,374)
(売買損益相当額)	(△ 23,182,078)
(G) 計(D+E+F)	93,328,446
次期繰越損益金(G)	93,328,446
追加信託差損益金	28,513,296
(配当等相当額)	( 51,695,374)
(売買損益相当額)	(△ 23,182,078)
分配準備積立金	177,688,938
繰越損益金	△112,873,788

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\*追加信託差損益とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配当等収益(費用控除後)	36,347,379円
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収益調整金	51,695,374
(D) 分配準備積立金	141,341,559
分配可能額(A+B+C+D)	229,384,312
(1万口当たり分配可能額)	( 1,492.4)
収益分配金	0
(1万口当たり収益分配金)	( 0)

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### お知らせ

---

#### 外国投資信託証券への投資について

外国投資信託証券から株式等へ投資する場合、わが国の投資信託証券から投資を行う場合と比べて税制が不利になる場合があります。

また、当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託証券はMLPに投資を行う場合がありますが、MLPの分配金は、21.0%を上限として源泉徴収されます（なお、源泉徴収された金額の一部が還付される場合があります。）。また、MLP投資においては、上記に加えてその他の税が課される場合があります。これらの税金の支払い等によりファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

\*現地の税制が変更された場合等は、税率等が変更となる場合があります。

\*上記は、2020年9月末現在、委託会社が確認できる情報に基づいたものであり、MLPに適用される税制等の変更に伴い変更される場合があります。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 参考情報

### ■投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名	ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA Brookfield Global Real Asset Fund Class A
基本的 性格	ケイマン籍／外国投資信託受益証券／米ドル建て
運用目的	世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リートなどに分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに、中長期的なファンドの元本の成長を追求します。
主要投資対象	世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リートなど
投資方針	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 世界のリアルアセット（インフラストラクチャー、不動産、天然資源など）関連の企業等が発行する債券、株式、リートなどに投資します。</li><li>2. 基本資産配分は、債券50%、インフラ株式25%、リート25%とし、市場環境等によって資産配分を変動させます。</li><li>3. 保有資産に対して、原則として為替ヘッジは行いません。</li><li>4. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</li></ol>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポートジャー、債券等エクスポートジャーおよびデリバティブ等エクスポートジャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い、当該比率以内となるよう調整を行ふこととします。</li><li>投資信託証券（上場投資信託を除く）への投資は、原則としてファンドの純資産総額の5%以内とします。上場投資信託への投資は、原則としてファンドの純資産総額の10%以内とします。</li><li>借入れは、原則として、借入金の残高の総額がファンドの純資産総額の10%を超えない場合に限り、行うことができます。</li><li>有価証券の空売りは行わないものとします。</li><li>デリバティブ取引は、ヘッジ目的に限定しません。</li></ul>
収益の分配	原則として毎月行います。
申込手数料	ありません。
管理報酬その他費用	年0.69% 信託財産にかかる租税、組入有価証券の売買時にかかる費用、組入有価証券の保管にかかる費用、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査にかかる費用、ファンドの設立・運営・管理にかかる費用、法務関連費用、借入金や立替金に関する利息等はファンドの信託財産から負担されます。 ※上記の報酬等は将来変更される場合があります。
投資運用会社	ブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシー

※上記の内容は、今後変更になる場合があります。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### ■投資対象とする投資信託証券の資産の状況

当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のBrookfield Global Real Asset Fundの情報を委託会社が抜粋・翻訳したものを記載しております。

#### 財政状態計算書

2020年3月31日現在

	2020年 (USD)	2019年 (USD)
<b>資産</b>		
現金及び現金同等物	2,911,998	428,308
証券会社からの未収金	—	760,000
損益を通じて公正価値で測定される金融資産	23,750,214	37,463,725
持分証券発行に係る未収入金	30,127	1,317,392
貸付金	272,464	607,770
<b>資産合計</b>	<b>26,964,803</b>	<b>40,577,195</b>
<b>負債</b>		
損益を通じて公正価値で測定される金融負債	10,503	—
未払い償還金	1,795	148,023
借入金	440,112	89,321
<b>負債合計</b>	<b>452,410</b>	<b>237,344</b>
<b>資本</b>		
持分証券	26,865,497	37,789,439
利益剰余金	(353,104)	2,550,412
<b>資本合計</b>	<b>26,512,393</b>	<b>40,339,851</b>
<b>資本および負債合計</b>	<b>26,964,803</b>	<b>40,577,195</b>

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 包括利益計算書

2020年3月31日に終了した年度

	2020年 (USD)	2019年 (USD)
<b>収益</b>		
現金及び現金同等物の金利収益	6,132	9,935
損益を通じて公正価値で測定される負債性及び貸付証券の金利収益	811,880	1,073,314
損益を通じて公正価値で測定される金融資産の配当収益	671,647	998,716
損益を通じて公正価値で測定される金融資産および負債の純（損）益	<u>(3,754,718)</u>	<u>1,893,415</u>
<b>(損)益合計</b>	<u>(2,265,059)</u>	<u>3,975,380</u>
<b>費用</b>		
配当費用	8,499	41,404
投資顧問報酬	249,660	295,405
信託報酬	5,750	6,818
管理会社報酬	14,601	16,364
カストディアン報酬	165,981	104,546
監査報酬	20,500	20,500
マイナス金利費用	51	—
その他の手数料及び費用	<u>19,934</u>	<u>17,021</u>
<b>費用合計</b>	<u>484,976</u>	<u>502,058</u>
<b>運用による（損）益</b>	<u>(2,750,035)</u>	<u>3,473,322</u>
配当金に係る源泉税	<u>(153,481)</u>	<u>(180,782)</u>
<b>税引き後（損）益</b>	<u>(2,903,516)</u>	<u>3,292,540</u>
<b>その他包括利益</b>	<u>—</u>	<u>—</u>
<b>当期包括（損）益</b>	<u>(2,903,516)</u>	<u>3,292,540</u>

全ての損益は継続事業から発生したものである。

包括利益計算書に表示された損益以外に認識された損益はない。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 持分変動計算書

2020年3月31日に終了した年度

	持分証券 (USD)	利益剰余金 (USD)	合計 (USD)
2019年4月1日残高	37,789,439	2,550,412	40,339,851
当期包括損失	—	(2,903,516)	(2,903,516)
持分証券の発行	11,869,241	—	11,869,241
持分証券の償還	(20,973,648)	—	(20,973,648)
分配金	(1,819,535)	—	(1,819,535)
2020年3月31日残高	<u>26,865,497</u>	<u>(353,104)</u>	<u>26,512,393</u>
	持分証券 (USD)	利益剰余金 (USD)	合計 (USD)
2018年4月1日残高	58,073,810	(742,128)	57,331,682
当期包括利益	—	3,292,540	3,292,540
持分証券の発行	7,007,523	—	7,007,523
持分証券の償還	(25,070,390)	—	(25,070,390)
分配金	(2,221,504)	—	(2,221,504)
2019年3月31日残高	<u>37,789,439</u>	<u>2,550,412</u>	<u>40,339,851</u>

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## キャッシュ・フロー計算書 2020年3月31日に終了した年度

	2020年 (USD)	2019年 (USD)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
当期包括（損）益	(2,903,516)	3,292,540
営業資産及び負債の変動：		
証券会社からの未収金の増（減）	760,000	(260,000)
損益を通じて公正価値で測定される金融資産の減少	13,713,511	16,988,991
貸付金の減少	335,306	319,703
損益を通じて公正価値で測定される金融負債の増（減）	10,503	(57,916)
借入金の増（減）	350,791	(190,058)
<b>営業活動によるネット・キャッシュ・フロー</b>	<hr/> <hr/> 12,266,595	<hr/> <hr/> 20,093,260
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
持分証券の発行	10,049,706	4,786,019
持分証券の発行に係る未収金の増（減）	1,287,265	(1,317,392)
持分証券の償還	(20,973,648)	(25,070,390)
持分証券の償還に係る未払金の減少	(146,228)	(624,690)
<b>財務活動によるネット・キャッシュ・フロー</b>	<hr/> <hr/> (9,782,905)	<hr/> <hr/> (22,226,453)
現金及び現金同等物のネット変動額	2,483,690	(2,133,193)
現金及び現金同等物の期首残高	428,308	2,561,501
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<hr/> <hr/> 2,911,998	<hr/> <hr/> 428,308
<b>補足情報：</b>		
負債性及び貸付証券の受取り金利	907,532	1,157,977
現金及び現金同等物の受取り金利	6,132	32,927
現金及び現金同等物の支払い金利	(51)	—
配当金－源泉税控除後	522,343	912,773
支払分配金	(7,527)	(11,534)
株式指數スワップの支払い分配金	(1,200)	(31,572)
分配金再投資	(1,819,535)	(2,221,504)

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 【組入上位銘柄】

銘柄名	資産	通貨	比率
1 American Tower Corp	株式	米ドル	1.7%
2 National Grid PLC	株式	英ポンド	1.7%
3 CSC Holdings LLC	債券	米ドル	1.6%
4 Prologis Inc	リート	米ドル	1.5%
5 HCA Inc	債券	米ドル	1.4%
6 SBA Communications Corp	株式	米ドル	1.3%
7 Level 3 Financing Inc	債券	米ドル	1.2%
8 AES Corp	債券	米ドル	1.2%
9 NextEra Energy Capital Holdings Inc	債券	米ドル	1.2%
10 Vinci SA	株式	ユーロ	1.2%

(組入銘柄数 183銘柄)

※ 組入上位銘柄はブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシーから提供された2020年3月末基準のデータに基づき作成しております。

※ Brookfield Global Real Asset Fundの純資産総額に対する比率です。

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2020年7月27日

(第14期：2019年7月26日～2020年7月27日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式への投資は行いません。</li><li>・ 外貨建資産への投資は行いません。</li><li>・ デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。</li></ul>



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 謄 中 落 率		公 組 入 比 債 率	純 総 資 産 額
		騰	落		
第10期（2016年7月25日）	円 10,186		% 0.1	% 81.1	百万円 4,928
第11期（2017年7月25日）	10,177		△0.1	58.8	3,841
第12期（2018年7月25日）	10,172		△0.0	69.2	4,478
第13期（2019年7月25日）	10,167		△0.0	72.9	3,760
第14期（2020年7月27日）	10,160		△0.1	86.2	4,668

\*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	期 謄 中 落 率		公 組 入 比 債 率
		騰	落	
(期 首) 2019年7月25日	円 10,167		% —	% 72.9
7月末	10,167		0.0	58.2
8月末	10,168		0.0	60.3
9月末	10,168		0.0	71.5
10月末	10,165		△0.0	79.4
11月末	10,163		△0.0	60.1
12月末	10,163		△0.0	57.5
2020年1月末	10,163		△0.0	69.5
2月末	10,163		△0.0	63.1
3月末	10,160		△0.1	71.6
4月末	10,160		△0.1	79.9
5月末	10,160		△0.1	74.2
6月末	10,161		△0.1	87.1
(期 末) 2020年7月27日	10,160		△0.1	86.2

\*騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

期 首 : 10,167円

期 末 : 10,160円

騰落率 : △0.1%

### 【基準価額の主な変動要因】

(下落要因)

日本銀行のマイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレートのマイナス化などが要因となりました。



### 【投資環境】

国内短期金融市場では、期初-0.13%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、2019年10月以来、海外投資家の短期の国債への需要の高まりを受けて、一時-0.4%近辺まで低下した後、-0.10%~-0.20%の狭いレンジで推移しました。2020年2月末以降は、年度越え要因に絡む海外投資家の短期の国債への需要の高まりや年度末を控えた担保需要の高まり等を受けて、-0.45%近辺まで低下しました。その後、期末にかけてマイナス幅を大きく縮小し、-0.09%近辺で期末を迎えました。

### 【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

## 今後の運用方針

新型コロナウイルス感染症への懸念拡大に伴う金融情勢を踏まえて、日本銀行は2020年4月の金融政策決議会合において金融緩和の強化を行ったものの、政策金利引き下げは見送りました。しかし世界の主要中央銀行は相次いで緊急利下げや量的緩和政策の導入に踏み切ったことや、日本銀行も国債のさらなる積極的な買い入れを明示したことから、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。当ファンドでは引き続き安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	2019年7月26日～2020年7月27日			
	金額	比率		
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等	
合計	0	0.000		
期中の平均基準価額は10,163円です。				

\*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*円未満は四捨五入しています。

## 売買及び取引の状況

(2019年7月26日から2020年7月27日まで)

### ■公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 402,133	千円 － ( 160,000)
	特殊債券	4,172,461	－ (3,207,000)
	社債券	2,708,532	－ (2,600,000)

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

\*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

\*社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれていません。

## 主要な売買銘柄

(2019年7月26日から2020年7月27日まで)

### ■公社債

当期		当期	
買付	金額	売付	金額
銘柄	千円	銘柄	千円
25 政保政策投資C	600,750	－	－
18政保地方公共団	598,798		
19政保地方公共団	503,400		
120 政保道路機構	502,685		
11政保地方公共団	403,904		
10政保地方公共団	400,636		
12政保地方公共団	200,456		
115 政保道路機構	195,904		
110 政保道路機構	195,815		
107 政保道路機構	140,973		

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 利害関係人との取引状況等

(2019年7月26日から2020年7月27日まで)

### ■利害関係人との取引状況

区分	当期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公社債	百万円 7,283	百万円 1,204	% 16.5	百万円 -	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

## 組入資産の明細

2020年7月27日現在

### ■公社債

#### A 債券種類別開示

##### 国内（邦貨建）公社債

区分	当期						末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別	組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
地方債証券	千円 300,000 ( 300,000)	千円 301,016 ( 301,016)	% 6.4 ( 6.4)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 6.4 ( 6.4)
特殊債券 (除く金融債券)	2,715,000 (2,715,000)	2,723,367 (2,723,367)	58.3 (58.3)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	58.3 (58.3)
普通社債券	1,000,000 (1,000,000)	1,001,801 (1,001,801)	21.5 (21.5)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	21.5 (21.5)
合計	4,015,000 (4,015,000)	4,026,186 (4,026,186)	86.2 (86.2)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	86.2 (86.2)

\* ( ) 内は、非上場債で内書き

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## B 個別銘柄開示 国内（邦貨建）公社債

銘 柏	当 期				末
	利 率	額 面 金 額	評 價 額	償 還 年 月 日	
(地方債証券)	%	千円	千円		
22-15 兵庫県公債	0.9600	100,000	100,216	2020/10/20	
27-1 仙台市5年	0.1010	100,000	100,037	2021/01/27	
347 大阪府公債	1.3200	100,000	100,761	2021/02/25	
小 計	—	300,000	301,016	—	
(特殊債券(除く金融債券))					
115 政保道路機構	1.0000	195,000	195,187	2020/08/31	
120 政保道路機構	0.9000	500,000	501,184	2020/10/30	
18政保地方公共団	0.9000	595,000	596,648	2020/11/17	
25 政保政策投資C	0.1470	600,000	600,280	2020/11/25	
122 政保道路機構	0.9000	95,000	95,291	2020/11/30	
19政保地方公共団	1.2000	500,000	502,307	2020/12/14	
22 國際協力銀行	1.8900	100,000	101,224	2021/03/22	
135 政保道路機構	1.1000	130,000	131,244	2021/05/31	
小 計	—	2,715,000	2,723,367	—	
(普通社債券)					
75 三菱商事	1.2310	100,000	100,005	2020/07/29	
15東日本旅客鉄道	2.6500	100,000	100,204	2020/08/25	
44 西日本高速道	0.0010	100,000	99,990	2020/09/18	
298 北海道電力	1.8200	100,000	100,277	2020/09/25	
369 中国電力	0.9760	100,000	100,226	2020/10/23	
2 コカ・コーラライースト	0.2760	100,000	100,085	2020/12/14	
3 大日本印刷	1.3580	100,000	100,520	2020/12/18	
5 日本梱包運輸	0.6140	100,000	100,162	2020/12/18	
2 フアーストリティリング	0.2910	100,000	100,095	2020/12/18	
27 三菱UFJリース	0.5080	100,000	100,233	2021/02/24	
小 計	—	1,000,000	1,001,801	—	
合 計	—	4,015,000	4,026,186	—	

## 投資信託財産の構成

2020年7月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
公 社 債	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,026,186	86.2
投 資 信 託 財 産 総 額	644,887	13.8
	4,671,073	100.0

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年7月27日) 現在

項	目	当期末
(A) 資	産	4,671,073,462円
コール・ローン等		634,504,423
公社債(評価額)		4,026,186,120
未収利息		7,895,871
前払費用		2,487,048
(B) 負	債	2,785,608
未払解約金		2,785,608
(C) 純資産額(A-B)		4,668,287,854
元本		4,594,902,903
次期繰越損益金		73,384,951
(D) 受益権総口数		4,594,902,903口
1万口当たり基準価額(C/D)		10,160円

\*元本状況

期首元本額	3,698,685,821円
期中追加設定元本額	5,601,788,586円
期中一部解約元本額	4,705,571,504円

\*元本の内訳

SMB Cファンドラップ・日本バリューステート	984,252円
SMB Cファンドラップ・J-R E I T	984,252円
SMB Cファンドラップ・G-R E I T	93,018,163円
SMB Cファンドラップ・ヘッジファンド	311,216,889円
SMB Cファンドラップ・欧州株	89,718,432円
SMB Cファンドラップ・新興国株	61,111,034円
SMB Cファンドラップ・コモディティ	30,882,058円
SMB Cファンドラップ・米国債	136,874,567円
SMB Cファンドラップ・欧州債	68,341,252円
SMB Cファンドラップ・新興国債	54,958,024円
SMB Cファンドラップ・日本グロース株	167,596,581円
SMB Cファンドラップ・日本中小型株	27,029,827円
SMB Cファンドラップ・日本債	964,891,078円
エマージング・ボンド・ファンド・円コース(毎月分配型)	36,545,313円
エマージング・ボンド・ファンド・豪ドルコース(毎月分配型)	130,604,200円
エマージング・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース(毎月分配型)	6,059,780円
エマージング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース(毎月分配型)	146,670,647円
エマージング・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース(毎月分配型)	5,392,215円
エマージング・ボンド・ファンド・トルコリラコース(毎月分配型)	47,173,770円
エマージング・ボンド・ファンド・マネーブールファンド	308,612,597円
大和住銀 中国株式ファンド(マネー・ポートフォリオ)	228,535,451円
エマージング好配当株オーブン・マネー・ポートフォリオ	2,041,063円
エマージング・ボンド・ファンド・中国元コース(毎月分配型)	1,339,775円
アジア・ハイ・インカム・ファンド・アジア3通貨コース	8,842,389円
アジア・ハイ・インカム・ファンド・円コース	754,055円
アジア・ハイ・インカム・ファンド(マネーブールファンド)	1,006,475円
日本株厳選ファンド・円コース	270,889円

日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	18,658,181円
日本株厳選ファンド・豪ドルコース	679,887円
日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース	9,783円
日本株225・米ドルコース	49,237円
日本株225・ブラジルリアルコース	393,895円
日本株225・豪ドルコース	147,711円
日本株225・資源3通貨コース	49,237円
グローバルCBオープン・高金利通貨コース	598,533円
グローバルCBオープン・円コース	827,757円
グローバルCBオープン(マネーブールファンド)	1,994,744円
オーストラリア高配当株プレミアム(毎月分配型)	1,057,457円
スマート・ストラテジー・ファンド(毎月決算型)	12,541,581円
スマート・ストラテジー・ファンド(年2回決算型)	4,566,053円
カナダ高配当株ツインα(毎月分配型)	66,417,109円
日本株厳選ファンド・米ドルコース	196,696円
日本株厳選ファンド・メキシコペソコース	196,696円
日本株厳選ファンド・トルコリラコース	196,696円
エマージング・ボンド・ファンド・カナダドルコース(毎月分配型)	320,670円
エマージング・ボンド・ファンド・メキシコペソコース(毎月分配型)	2,042,379円
カナダ高配当株ファンド	984円
米国短期社債戦略ファンド2017-03(為替ヘッジあり)	1,751,754円
世界リアルアセット・バランス(毎月決算型)	1,451,601円
世界リアルアセット・バランス(資産成長型)	2,567,864円
米国分散投資戦略ファンド(1倍コース)	251,575,286円
米国分散投資戦略ファンド(3倍コース)	1,196,314,788円
米国分散投資戦略ファンド(5倍コース)	445,153円
大和住銀マルチ・ストラテジー・ファンド(ヘッジ付)(適格機関投資家限定)	98,396,143円

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 損益の状況

自2019年7月26日  
至2020年7月27日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	28,910,099円
受 取 利 息	29,808,510
支 払 利 息	△ 898,411
(B) 有 價 証 券 売 買 損 益	△32,308,146
売 買 益	7,820
売 買 損	△32,315,966
(C) そ の 他 費 用	△ 2,891
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 3,400,938
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	61,807,847
(F) 解 約 差 損 益 金	△76,600,416
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	91,578,458
(H) 計 (D+E+F+G)	73,384,951
次 期 繰 越 損 益 金(H)	73,384,951

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

## お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨てで、比率は四捨五入で表記しております。